



株主通信 <第54期 第1四半期>

JBCCホールディングス株式会社 (証券コード: 9889)



差出人 東京都大田区蒲田五丁目37-1
ニッセイアロマスクエア15F
JBCCホールディングス株式会社
広報IR

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

※本通信は2017年3月末時点での株主様にお送りしています。

01 OPEN

トップメッセージはこちらから。

【ご注意】濡れている場合はよく乾かしてからめくってください。

第1四半期のトピックスをご案内します。

JB Group IT Forum2017を開催しました。

「JB Group IT Forum2017」を東京・名古屋・大阪の3会場で5～6月に実施し、約2,500名のお客様にご来場いただきました。

テーマは、「Transform-ITのチカラで、未来を変えよう」。クラウド、IoT、AI、セキュリティなどのデジタル技術を相互につなげ、企業や社会、経済に新たな価値を生み出すIT活用を、JBグループおよびパートナー各社とともに、セッションや展示を通じて具体的にご紹介しました。

また、基調講演には、外交ジャーナリスト 手嶋龍一氏を迎え「激動の世紀をどう生き抜くか～トランプ新政権と日米同盟～」と題してご講演いただきました。



日経IR・投資フェア2017に出展します。

今年も、8月末に開催される日経IR・投資フェアに出展します。当日は、企業ブースでの当社紹介と社長による会社説明会を実施いたします。ぜひ、ご来場ください。

- 開催：2017年8月25日(金)～26日(土)
- 会場：東京ビッグサイト 東4ホール
- 主催：日本経済新聞社
- 企業ブース：49
- 会社説明会：8月25日(金) 14:45～15:10 D会場

【公式サイト】 <http://www.nikkei-irfair.jp/>



【IRメール配信サービス(無料)】のご案内

当社の業績など適時開示内容や当グループ内の最新情報をメールでお知らせします。配信をご希望の方は、下記よりご登録ください。

登録サイト

<https://www.jbcchd.co.jp/mail/>

第53期定時株主総会を開催しました。

2017年6月21日に開催した「第53期定時株主総会」には、129名の株主様にご出席いただきました。議長からの第53期報告及び今期よりスタートした中期経営計画のご説明後、質疑応答及び議案の採決を行い、取締役(社外取締役及び監査等委員である取締役を除く)に対する譲渡制限付株式付与のための報酬設定の件など全議案が承認・可決されました。総会終了後は、当社役員との懇談会を実施し貴重な意見交換の機会となりました。

株主総会動画をご確認ください。

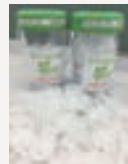
当社ホームページでは当日の資料掲載のほかに、会場の雰囲気を感じていただける動画配信を行っています。

【URL】 https://www.jbcchd.co.jp/53_soukai/



ひとりひとりができることで... JBグループのCSR 『アイシティecoプロジェクト』に取り組んでいます。

JBグループでは、HOYA(株)が実施する、使い捨てコンタクトレンズの空ケースを回収し、リサイクル売却代金を全額(財)日本アイバンク協会に寄付する活動「アイシティecoプロジェクト」に賛同し、取り組んでいます。視力を再び取り戻したいと願う方々のために役立てられています。



アイシティecoプロジェクト ▶ <https://www.eyecity.jp/eco/>

決算等の財務情報に関するご質問は



0120-887-652

受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日除く)

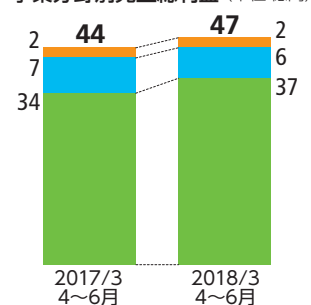
e-mail : ir@web.jbcc.co.jp

※本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれていません。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おきください。

第1四半期の概況をお知らせいたします。

高収益化への取り組みで、前年同期比「減収増益」の結果となりました。

事業分野別売上総利益 (単位:億円)



■ 製品開発製造

プリンターなどの情報機器及びグループ独自のソフトウェアの開発・製造・販売

■ ディストリビューション

パートナー企業向けにハードウェア、ソフトウェア及びITサービスなどの販売、並びにITサプライ用品及びオフィス文具用品などの販売

■ 情報ソリューション

企業の情報システムの構築及び運用保守サービス等を提供

● 情報ソリューション → 売上高129億45百万円 (前年同期比3.1%減)

システム開発は、高速開発及び高利益率の案件の獲得に加え、クラウド推進等が、利益に貢献しました。サービスビジネスは、構築サービスが減少しましたが、導入サービスやセキュリティサービスが堅調に推移しました。システム製品は、サーバーとストレージ(*)を統合した次世代仮想化ソリューションビジネスが利益に大きく貢献しました。

● ディストリビューション → 売上高67億58百万円 (前年同期比0.8%増)

パートナーを通じて販売するシステム製品は、IBMサーバーやストレージ等のビジネスで大型案件の獲得等により堅調に推移しました。契約窓口となっているIBM製品の新規保守サービスが堅調だったことにより、サービスビジネスも増加しました。ITサプライは全般的に需要が伸びず販売が低調に推移しました。

● 製品開発製造 → 売上高5億46百万円 (前年同期比6.1%減)

グループ会社を通じてのJBソフトウェアや生産管理システム「R-PiCS」のビジネスが堅調に推移しました。しかし、主力製品であるインパクトプリンターのビジネスが減少しました。

(*)ストレージ：外部記憶装置

ごあいさつ

平素は当社経営に一方ならぬご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2017年度第1四半期が終了しましたので、連結決算概況をご報告いたします。

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日)におけるITサービス市場の動向は、IoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)など、新たなIT活用の検討が活発化しており、IT投資の伸長が見られます。当社の主なお客様である中堅企業においてもその兆しが見られ、中期経営計画の初年度として、順調なスタートを切ることができました。

高速開発やシステム製品の高付加価値化、セキュリティビジネスの推進などが収益の向上に貢献しましたが、前年同期比では、減収増益となりました。

[売上高] **202億49百万円** (前年同期比1.9%減)

[営業利益] **4億84百万円** (前年同期比43%増)

[経常利益] **5億31百万円** (前年同期比44.4%増)

[親会社株主に帰属する四半期純利益] **3億3百万円** (前年同期比36.2%増)

第2四半期以降も、中期経営計画での7つの成長事業(クラウドサービス、新システム開発、セキュリティサービス、JBソフトウェア、ヘルスケア、3D事業、人財育成サービス)を積極的に推進し、ビジネスの拡大に努めてまいります。

以上を踏まえ、平成29年5月9日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

※当第1四半期末に、当社の連結子会社であった株式会社イグアスの株式を全て売却いたしました。

平成29年6月21日開催の当社第53期株主総会決議ご通知とあわせて、株主の皆様へ送付させていただいた「株主様アンケート」に多くのご回答をいただきました。この場をお借りしてご協力いただきました株主の皆様へ御礼を申し上げます。皆様からいただいた貴重なご意見は、今後のIR活動の参考にさせていただきます。

今後とも株主の皆様のご期待に沿えるよう、グループ一丸となって邁進してまいりますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。



2017年8月
代表取締役社長 **山田 隆司**

※今回のアンケート結果につきましては、第2四半期の株主通信にてご報告いたします。

配当・株主還元について

株主様アンケートでもご質問をいただいております「配当・株主還元」について、当社はすべての株主様に利益を還元することが重要と考え、株主優待の実施ではなく配当の実施および自己株式の取得・消却により株主の皆様へ利益を還元しております。

特に剰余金の配当については、経営体質の強化と将来のグループ全体としての事業展開を考慮しつつ、株主の皆様へ安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。